



大町市キャラクター
おおまびよん

／お互いさまのまちづくり

第177号
平成27年 8月1日

社協 おおまち

カラオケボックスで 地域の集い



「思いっきり歌うのはストレス解消になる」と話したのは、最高齢の参加者、92歳の松島智之さん。

小地域福祉ネットワーク十日町つくしの会では、町内カラオケ教室がなくなった22年から、公民館でカラオケサロンがスタート。24年からは、カラオケボックスの「ジャックと豆の木」(五日町)に会場を移し現在に至ります。

月2回の開催で、費用は参加者の割り勘。飲み物やお菓子を注文して、昔話などに花を咲かせながらカラオケを楽しんでいます。「楽しみで毎回心待ちにしている」との参加者の声に、まとめ役の仁科さんは「一人暮らしの人もいて、みんな楽しみにしている。できる限り続けていきたい」。カラオケサロンは、健康と地域のつながりをつくる一石二鳥の集い。地域の集いにルールはありません。皆さんの地域ではどんな集いがありますか。

(写真＝「十日町 つくしの会」 7/17 ジャックと豆の木)

主な内容

- ◆H26年度事業と決算報告……………2～3ページ
- ◆報告！小地域福祉ネットワーク研修会……………4～5ページ

- ◆社協「特別会費」のお願い……………6ページ
- ◆社協の相談事業……………7ページ
- ◆お知らせ 保育サポーター講座ほか……………8ページ

平成26年度 事業と決算の報告

事業報告

第2次地域福祉活動計画に沿って、事業を実施しました。

1. 地域福祉推進基盤の強化

変動する地域社会に、柔軟に対応しながら法人運営に努めました。

①会議の開催（理事会3回、評議員会3回）

②寄付および義援金の採納

●寄付金 1,165,809円

●義援金 271,815円（うち神城断層地震 195,732円）

●物品寄付多数

③会員組織の強化

●会費の使途について分かりやすい広報に努めました。

一般会員	7,673世帯	460万円
特別会員	771人	231万円

※ご協力ありがとうございました。

④赤い羽根共同募金運動の推進

新たな募金資材を用意し、各募金活動を実施。小学生の協力による街頭募金をはじめ、新たにコンビニエンスストアへの募金箱設置を依頼。目標額の達成とともに、前年度を上回る募金協力が得られました。



小学生協力による街頭募金
(10/4 ザ・ビッグ信濃大町店)

⑤公益事業の推進

大町市・八坂・美麻総合福祉センター

大町市から指定管理の委任を受けて3施設の管理運営を行いました。

2. お互いさまのまちづくり

地域のふれあい、支え合いネットワークの構築に努めました。

①支え合いマップ作成の推進

●支え合いマップ作成マニュアルを活用し、モデル地区を指定して作成に取り組みました。

●連合自治会や各自治会で説明会を開催（計18回）



支え合いマップ
作成マニュアル

②小地域福祉ネットワーク活動の推進

●3自治会で新規ネットワークが立ち上がりました。

③ボランティアセンター運営事業

誰もが気軽に参加できるボランティア環境づくりの推進に努めました。

●ボランティア活動の推進（登録88団体、6,123人）

●ボランティアセンター運営委員会の開催（年2回）

●災害ボランティア支援態勢整備事業

11/22に発生した神城断層地震の対応として、職員派遣をはじめ、ボランティアの受け付けおよび派遣を実施。

大町市	・美麻地区ニーズ調査の実施 ・災害ボランティア受け付け 43人登録 ・ボランティア活動 9件 延べ17人参加
白馬村	災害ボランティアセンター職員派遣 ・期間 11/25～30の6日間 ・人数 延べ 11人参加
小谷村	災害ボランティアの受け付け ・期間 11/25～12/6の12日間 ・受け付け数 62人登録 ・活動人数 延べ 58人参加

3. 安心して暮らせるまちづくり

誰もが生きがいをもって「安心して暮らせるまちづくり」の推進に努めました。

①生活支援活動

●心配ごと相談事業

（毎月2回開設、相談件数73件）

●福祉輸送サービス

公共交通機関の利用が困難な人の移動を支援
（利用登録者138人、運行回数延べ 2,064回）

●日常生活自立支援事業

判断能力が不十分な人の福祉サービス利用や日常的な金銭管理を支援
（契約件数75件、支援回数延べ 2,204回）

●高齢期安心生活支援事業

相続に関する講座を開催（全4回、延べ 234人参加）

②高齢者福祉活動の推進

要介護認定前の高齢者を対象に、より充実した在宅生活が継続できるようサービスを提供しました。

●生活支援ホームヘルプサービス（利用回数 306回）

●生きがいデイサービス（2カ所、利用者数延べ 347人）

③介護保険事業の推進

介護認定者のご家族のニーズを把握し、柔軟性のあるサービス提供に努めました。

●居宅介護支援事業（利用延べ件数 1,063件）



- 訪問介護事業（訪問時間数 20,958時間）
- 訪問入浴事業（利用延べ人数 596人）
- 通所介護事業（利用延べ人数 17,149人 ※4事業所）

④障がい者福祉の推進

利用者ニーズに沿った支援の提供と社会参加の促進に努めました。

- 障がい児者希望の旅（9月5日〔金〕開催 48人参加）
- 大北圏域障害者総合支援センター（スクラム・ネット）
就業生活支援……………相談支援件数 1,283件
障害福祉サービス計画支援…計画作成件数 37件
大北圏域相談支援……………延べ相談件数 5,487件
療育支援……………延べ相談件数 1,736件
- 居宅介護支援事業（障がい者を対象としたヘルパー派遣）
派遣時間延べ 6,751時間
- 就労継続支援B型（ひまわりの家、すずらん）
利用人数延べ 4,496人
- 生活介護事業（たんぼぼ、ひまわりの家）
利用人数延べ 3,610人
- 障害者地域活動支援センター（ハーモニー・ルーム）
利用人数延べ 1,749人



新たんぼぼ棟竣工

4. 経済的支援活動の推進

資金貸付事業（小口資金、生活福祉資金）

- 小口資金貸付（市社協）
貸付件数 8件 貸付金額 384,929円
- 生活福祉資金貸付（県社協）
貸付件数 4件 貸付金額 1,968,000円

災害見舞金等支給事業

- 寝具支給 5組、見舞金72世帯 230,000円

生活困窮者等自立支援モデル事業

生活困窮者自立支援法施行前に、モデル事業として相談窓口を開設（相談件数 369件）

5. 受け継がれるまちづくり

①地域の担い手育成事業

地域住民や子どもたちへの福祉教育の推進や地域活動の担い手育成に努めました。

- 福祉出前講座の実施（開催回数42回）
- 小中学生および大人のボランティア塾の開催（年9回、受講者延べ86人）
- 各種講座の開催
一緒にお出掛けボランティア講座（2回、13人参加）
サロンボランティア講座（4回、9人参加）
男の料理教室（1回、7人参加）



一緒にお出掛け
ボランティア講座
～7/17車いす講座～

②福祉団体等助成金事業

会費と共同募金を財源に助成金を交付しました。

- 福祉団体等助成金
9団体 330,000円
6地区社協 2,280,100円
- ボランティア団体助成金
19団体 501,440円

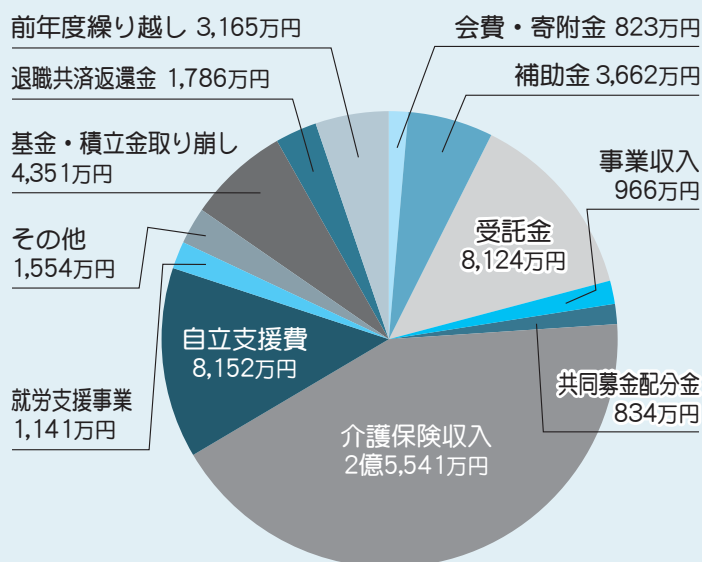


ボランティア団体助成
（高齢者への活動）
～ゆずり葉の会 セタ交流会～

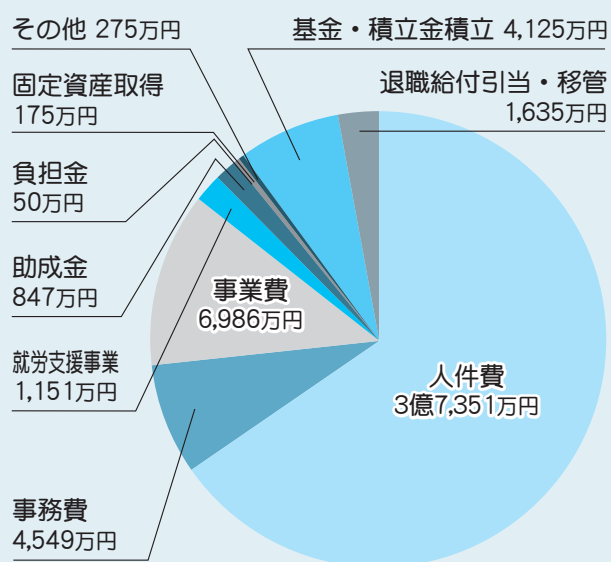
決算

収支差額2,955万円は、次年度の人件費等支払い資金として繰り越します。

収入総額 6億99万円



支出総額 5億7,144万円



報告！小地域福祉ネットワーク研修会

平成7年度から始まった小地域福祉ネットワークは、今年で20年目。長年、地域住民の支え合いの要として活動している皆さんが、取り組みや課題について情報交換し、これからの活動のヒントを見つけることを目的に研修会を開催しました。

卓上カーリング「カーレット」～レクレーション研修～

大町市社協では本年度、地域の皆さんに活用していただこうと、卓上カーリング「カーレット」を3セット整備しました。皆さんに楽しんでいただきながらゲームの仕方などを研修しました。



円の中心に向かってストーンを滑らせます。



相手チームの邪魔なストーンをはじき飛ばします。



ゲームの行方は最後まで分かりません。

【カーレットのルール】

※大町市社協オリジナル

- ◆人数 基本は6人（3人×2チーム）
- ◆進行
 - 先攻後攻のじゃんけん
 - チーム交互にストーンを投げる。
 - 最後に円の中心に近い場所にストーンがあるチームが勝ち。

研修「介護保険改正と地域活動」

基調説明 大町市地域包括支援センター 小日向 勲氏



●「要支援」認定者へのサービスが変わります

「要支援」認定の皆さんが、日常生活で困っている事は「買い物、洗濯、掃除等」と言われています。現在は公的サービスとしてヘルパーが支援を行っていますが、これらは必ずしも専門家が行う必要のない専門性の低いサービスです。そこで、「要支援」認定者の訪問介護（ヘルパー）と通所介護（デイサービス）は、地域の実情に合わせ、29年度から市町村独自の取り組みに移管されることになりました。

●新たなサービスの担い手には地域住民も

これまでは、介護や介護予防を公的機関や介護事業所のみが担う制度でした。これからは、他の民間企業や住民ボランティアなども担い手として位置付け、一緒に取り組んでいく内容となっています。地域住民等による積極的な取り組みが一層重要となってきます。

●「自分ごと」の地域づくり

私たち住民は「自分ごと」として、これからの介護保険制度などが進む方向を認識することが必要です。一方で、すでに市内で取り組まれている住民主体のサロン活動や生活支援活動は、まさしく「介護予防や日常生活を支援する仕組み」そのものといえます。

自分だけでなく子どもや孫の世代、10年、20年先の自分ごとのために、地域づくりを進めていきたいと考えます。

グループに分かれて情報交換

●住民交流活動について ～ふれあいサロン活動～

Q 開催回数は？

A 月1回の開催地区が多い。地区によっては、毎週何らかの形で交流の場づくりをやっている。

Q 交流会の内容は？

A 介護予防として、体操教室を開催している地区が多い。また、季節に合わせた行事や、地元の芸能ボランティアの協力による交流会、カラオケボックスを会場としてカラオケサロンをやっている。

Q 開催してうれしかったことや得られたものは？

A 参加された皆さんの笑顔と、「楽しかったよ」「次回も楽しみにしているから」の言葉がありがたく継続している。今の時代、交流会でもなければ隣近所の状況が分からない。サロンや交流会をやっていることで、新しい人間関係が生まれている。

Q 運営する上での課題は？

- A ●男性の参加者が少ない。 ●自治会からの支援もある中で、未加入者をどうすればいいか。
●次世代の担い手確保ができない。今はいいが、自分たちができなくなったらどうなっていくのか不安。



●生活支援活動について ～雪かき、ごみ出し、買い物支援など～

Q 地域で生活支援活動、課題は？

- A ●雪かき支援をしている地区が多いが、善意で雪かきをしてトラブルになったケースもある。
●ヘルパーは制度の中で支援をしているが、地域はボランティア。制限がないためやりづらい。
●買い物の送迎などを支援する地区もあるが、事故などの不安がいつもある。
●頼む側としては迷惑をかけたくないという気持ちが大きいのでは。
●プライバシーの問題もあり、隣近所だからこそできない部分が大きいのでは。

Q 地域で生活支援、必要なことは？

- A ●「助けて」「手伝って」と気軽に言える環境づくり。
●現在、地域の福祉ニーズを担っている民生児童委員さんとの連携体制。
●地域ボランティアがボランティアしやすい制度づくり。
●事故（特に送迎など）の補償制度。
●組織的な生活支援体制づくり。無理なく支援できる仕組みづくり。
●まずは、交流会などで顔の見える関係づくり。

求められる生活支援 ～具体的事例から～

【ごみ出し】

- ごみステーションまでごみを運べない。



【買い物】

- スーパーまで行けても、買った荷物を運べない。

【その他】

- 雪かきができない。
- 庭の草取りができない。

これからの地域活動は…「楽しく、無理なく、自分ごととして」

楽しく 「サロン」など交流の場づくり。参加者も運営者もみんな楽しく。

無理なく 交流の場での関係づくりは、「助ける」「助けられる」の関係づくり。

自分ごと 今やっていることは、将来の自分や子ども、孫、次世代で必ず形となって返ってくる。



お互いさまのまちづくり

大町市社会福祉協議会

『特別会費』納入のお願い



大町市社会福祉協議会は、「誰もが安心して暮らし続けることができる地域づくり」を目指し、地区社協・小地域福祉ネットワーク活動やボランティア活動など、地域で支え合い、助け合う活動を支援しています。事業をご理解の上、財政的支援をしていただくのが「特別会員」です。納めていただく「特別会費」は、地域活動の貴重な財源となります。皆さまのご協力をお願い致します。

1人当たり(年額)
3,000円

納入方法

- ◆継続会員…8月より担当民生委員が皆さまのご自宅にお伺いしますのでお渡しください。
- ◆新規会員…年間を通して社協事務局で受け付けしていますので、ご協力をお願い致します。

会費で支えられている事業を紹介します

地区社協・小地域ネットワーク活動助成



大新田町ミニサロンこだま
～バーベキュー交流～



三世代交流事業(児童センター)



五日町コスモスの会
～防災勉強会～

ボランティア団体活動助成



安曇養護学校大町地区PTA
～花壇づくり～

広報・啓発活動



広報紙「社協おおまち」

福祉教育・担い手育成



サロンボランティア講座
レクリエーション研修

一人で悩むよりもまず相談！

社協の相談事業

お気軽にご相談ください

事前予約にご協力ください

心配ごと相談・司法書士相談

日々の暮らしの中の大小の悩み事について、解決の糸口を相談者と共に見い出していく相談窓口を開設しています。複数の相談員で相談に応じます。お気軽にお電話ください。

大北地域心配ごと相談日程 8月・9月

8月	期 日	時 間	内 容	担当者	会 場	問い合わせ
	8月10日(月)	13:00~16:00	心配ごと相談	心配ごと相談員	大町市 総合福祉センター	大町市社協 ☎22-1501
		13:00~15:00	司法書士相談	司法書士		
	8月24日(月)	13:00~16:00	心配ごと相談	心配ごと相談員		
		13:00~15:00	司法書士相談	司法書士		
9月	8月11日(火)	13:30~15:30	なんでも相談	心配ごと相談員	やすらぎの郷	池田町社協 ☎62-9544
	8月25日(火)					
	8月5日(水)	13:00~15:00	生活全般 子育て相談	民生委員 児童委員	ゆうあい館	松川村社協 ☎62-9000
	8月5日(水)	13:00~16:00	司法書士相談	司法書士	白馬村保健福祉 ふれあいセンター	白馬村社協 ☎72-7230
	9月7日(月)	13:00~16:00	心配ごと相談	心配ごと相談員	大町市 総合福祉センター	大町市社協 ☎22-1501
		13:00~15:00	司法書士相談	司法書士		
	9月28日(月)	13:00~16:00	心配ごと相談	心配ごと相談員		
		13:00~15:00	司法書士相談	司法書士		
	9月8日(火)	13:30~15:30	なんでも相談	心配ごと相談員	やすらぎの郷	池田町社協 ☎62-9544
	9月29日(火)					
	9月2日(水)	13:00~15:00	生活相談 人権相談	民生委員 人権擁護委員	ゆうあい館	松川村社協 ☎62-9000
	9月8日(火)	13:00~16:00	人権相談 心配ごと相談	人権擁護委員	白馬村保健福祉 ふれあいセンター	白馬村社協 ☎72-7230
	9月9日(水)	13:30~16:00	行政相談 心配ごと相談	行政相談員 司法書士	小谷村開発センター	小谷村社協 ☎82-2430

長野県・大町市生活就労支援センター「まいさぽ大町」

生活や就労で困っている皆さんの相談窓口を開設しています。

日程 月～金曜日（土・日曜日、祝日を除く） 8:30～17:30



日常生活自立支援事業

障がいのある人や高齢者で、ご自身で判断することが難しく、日常生活や財産管理で困っている皆さん。社協が金銭管理を含めた日常生活をお手伝いします。

相談日 月～金曜日（土・日曜日、祝日を除く） 8:30～17:30



参加者募集！

“あなたの子育て経験を生かしてみませんか” 保育サポーター講座



保育サポーターは、行事や講座の時などに、参加者の
お子さんをお預かりする託児ボランティアです。

全4回の講座

●期日・会場

期 日	時 間	内 容	会 場
9/1(火)	10:00~12:00	● 保育の心と子どもの遊び ● 読み聞かせと遊び	しらかば保育園
9/16(水)	9:30~11:30	● 発達障がい者サポーター養成講座	平公民館・ 女性未来館ピュア
9/30(水)	13:30~15:30	● 幼児安全法講習、保育サポーターの活動	
未定		● 託児ボランティアの実践	

●費 用 500円程度(教材費等) ●対象・定員 市内在住の人 10人

●申し込み 8月14日(金)までに電話で平公民館・女性未来館ピュアへ。TEL22-0694



**あなたの
出番！**

大町市総合福祉センター

エントランスホールをご利用ください

正面玄関を入ってすぐのエントランスホールは、
広い空間でセンター来場者が必ず通る場所です。
発表の場として活用してみませんか。

どんなことに活用できるの？



例えば… あなたの作品・活動の発表の場としてご利用ください。



絵画・写真・手芸作品など
あなたの個展会場として



7/3には七夕コンサート
を開催しました。

◆利用案内

● 公共施設のため、営利目的の使用
はご遠慮ください。

● 利用希望の人は、事前に事務局に
ご連絡ください。

◆申し込み 大町市社会福祉協議会
☎22-1501

ふれあいの窓

善意の寄附をありがとうございます

【現金】 匿名…120,000円 【物品】 神楽町女性部…日用品多数 【使用済切手等】 匿名多数

平成27年5月16日～7月15日受け付け分

「社協 おおまち」へのご意見、ご希望、投稿など、皆さんの声をお寄せください。

〒398-0002 大町市大町1129 大町市総合福祉センター内

編集・発行：社会福祉法人 大町市社会福祉協議会 地域福祉係 TEL22-1501 FAX22-7071

http://www.omachishakyo.org/ E-mail soumukikaku@omachishakyo.org